

平成 2 7 年度学校運営計画書

学校名 和歌浦小学校 校長名 亀 位 直 規 作成日 平成 2 7 年 4 月 2 8 日

学校教育目標

「健康なからだ、確かな考えと、豊かな心を持ち意欲的に活動する子どもを育てる」

心身共にたくましく、
健康な生活をおくれる子

自分や他人の人格を尊重し、
思いやりのある子

自分の考えや思いをしっかり
表現できる子

開かれた学校

ゆたかな心

確かな学力

本
年
度
の
重
点
目
標

○地域の文化・人材等を活用するネットワークづくりに取り組む。
○保護者や地域の方々との連携をさらに深め、信頼される学校づくりを進める。
○学校関係者評価委員、学校評議員と連携し、よりよい教育活動につなげる。

○あいさつや「早ね 早おき 朝ごはん」などに進んで取り組む態度を育成する。
○読書活動の充実をはかる。
○道徳の指導を充実させ、児童の実態に応じた判断力・行動力を養う。
○特別支援教育の推進に努める。
○人権意識向上に向け、教育活動全般を通して取り組みを行う。

○「自分の考えや思いをしっかり表現できる」魅力ある授業づくりをめざす。
○指導方法の工夫・改善をはかるため、教職員の研修の場を大切にする。
○基礎学力の向上のため「紀州っ子学びノート」も活用し、家庭との連携を進める。

目
標
達
成
に
向
け
た
具
体
的
方
策

○学校だよりを校区の方々に回覧する。また、ホームページ等で学校行事等についての情報発信に努める。
○地域の方々に本校教育への協力をお願いする。
○学校関係者評価委員会・学校評議員会からの提言を教育活動に反映させ、学校改善に取り組む。

○あいさつや「早ね 早おき 朝ごはん」などの基本的な生活習慣について、さらなる定着をはかるとともに家庭・保護者への啓発にも努力する。
○家庭・地域と連携し、読書活動を充実させる。また、図書室や学級文庫を整備し、よみきかせボランティアの協力を得て魅力ある読書環境の充実に努める。
○道徳の時間の充実のため、教材の工夫や整備に努める。
○特別支援学級開級式、集会発表、交流学習、学年別人権集会などあらゆる機会を通して人権意識の向上をはかる。

○児童の実態をしっかり捉え、一人ひとりに応じたわかる授業づくりの実践研究に取り組む。
○教職員の実践力の向上のため、授業研究を軸に様々な研修を計画的に実施する。
○基礎・基本的な学力の定着のため、家庭・保護者との連携を密にし、日々の学習の積み上げを大切にする。
○「学びの時間」を有効に活用し、読書への関心を高めると共に基礎学力の確かめとする。